

矢中の窓

平成24年度02号
平成24年5月19日発行
大田区立矢口中学校
校長 辻村 弘

昭和から学ぶ

ご存知のように今、NHK朝の連続テレビ小説で、「梅ちゃん先生」を放映しています。戦後の焦土化した、焼け跡が残る、蒲田が舞台になっています。3人兄弟の末っ子、梅子が地域の人たちの支えによって町医者となり、戦後の激動の中を生きていく物語です。先日「蒲田 いまと昔 展」に行ってきました。昭和の時代の蒲田の様子がわかりやすく展示されていました。また、私の好きな映画に「ALWAYS 三丁目の夕日」があります。昭和30年代の下町を舞台に、そこに働く人々の温かな交流を描いています。この映画のほのぼのの感もさることながら、庶民の人たちが力を合わせて、手を取り合い、新しい時代を築こうとしている、そのひたむきさに私は、心を打たれました。子どもも大人も、誰もが、将来に向けての希望と可能性を感じ、精一杯ひたすら生きていこうとしています。

ただ、この二つのドラマと映画の舞台になっている昭和という時代が、本当に夢のような時代であったわけではありません。それどころか、ある意味、戦いの時代だと思っています。悲惨な戦争を経験したことよりもその悲惨な戦争を経験しながらも、復興に向けて、血の滲むような努力をすべての国民がしてきた時代であり、それはある意味、戦いとも呼べるのだと思っています。平成19年に制定された「昭和の日」にもその趣旨として、「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いを馳せる」と明記されています。

私が昭和の時代のすごさを感じるのは、実は復興の過程についてです。戦争からの復興を急ぐあまり、日本が環境などを二の次に考えて歩んできたことは残念ながら否定できません。しかし、その一方、そこからきちんと軌道修正し、日本の進むべき道を模索したのが「昭和」という時代だと思います。多摩川は一時期、ドブ川のような様相を帯びていました。私も多摩川の下流に住んでいましたが、風向きによっては川の近くだと我慢ができないくらいの匂いが漂っていたほどです。それが今ではとてもきれいな川になりました。ハゼなどを釣る人も見かけます。あれほど日本全国で問題となった公害も日本は見事に克服したばかりか、環境と人間の調和を目指してきたのです。そしてそれが「昭和」という時代です。

「昭和」を単なるノスタルジー、過去やふるさと、郷愁の代名詞にしてはいけないと思います。「過去は現在の父」と述べたのは推理小説家、アガサ・クリスティーですが、まさに過去となりつつある「昭和」から、何を学ぶのか、私たちは問われているのだと思います。そして、そのためには、「昭和」を知る努力を怠ってはならないと思います。ご両親やおじいさん、おばあさんにどんな時代か聞いてみてください。きっと「現在」に生きる何かが見つかるはずです。是非、ご家庭での話題にいただければと思います。(全校朝礼より)

多くの生徒が、ガーデンパーティーでボランティアを！

4月22日(日)第61回大田区子どもガーデンパーティーが、多摩川大橋緑地で開催されました。本校からは、今年も50名近くの生徒がボランティアとして参加しました。今年も主催する青少対の企画で、沢山のコーナーが設けられ、地域に住む小さな子どもたちや小学生が1日有意義に遊べる会場が提供されました。このイベントの運営には、小中学校の保護者をはじめPTA役員、地元の企業や諸機関・団体など大勢の皆様が携わっています。

本校では、ボランティアとして、生徒会役員、女子バスケット部、陸上部、有志が参加しました。各コーナーや模擬店の手伝いなど、会場のあちらこちらで活躍する生徒の姿が見られました。参加した子どもたちをはじめ、会場に来ていた多くの人から喜ばれていました。また、閉会式後の後片付けも全員が責任をもって役割を果たして、たいへん立派でした。生徒には、地域の一人としての所属意識をもたせ、地域行事に積極的に関わることが大切であると考えております。今後共どうぞよろしくお願いいたします。



六郷会場に向かう陸上部員

移動教室を終えて

第1学年主任 富永 啓心

入学して1ヶ月も経たないうちに、大田区で一番早い移動教室を迎えました。教員も、生徒もあまり余裕がなく、最低限の準備をして5月6日(日)～5月9日(水)の野辺山移動教室に行ってきました。

1日目は、野辺山に着いたら、雷を伴う雨。飯盛山ハイキングは、生徒たちの健康を考えて中止。学園の体育館で、スポーツ大会を行いました。第129回？ドッチボール大会は、2大会連続3組の優勝。第159回？綱引き大会は、5組の優勝。急な変更でも、生徒が楽しそうに協力して頑張っている姿は、生き生きとしていました。先生方も生徒と勝負しましたが、生徒の圧勝。また、途中でのおやつをおいしそうに笑顔で食べている姿も印象的でした。夕食後家庭に向けて、家族への手紙をはがきに書きました。慣れないよう



ドッチボール大会の様子

で戸惑っている生徒が多かったです。2日目は、清里のキープ牧場での酪農体験。特に牛舎清掃では、始めは臭いや汚れを気にしていましたが、徐々にエンジンがかかり、最後は、自分から進んで作業をしていました。中には、牧場で働く人間違えるぐらい一生懸命頑張っている生徒も。乳搾りも緊張しながら、楽しそうに体験。夕食後、レク練習では、恥ずかしがりながら、レク係を中心に頑張っていました。



酪農体験の様子

3日目は、午前中、飯盒炊さんでカレー作り。火熾しからやっただので、薪に火をつけるのに苦労していました。なんとか全員がカレーを食べることができました。午後は、滝沢牧場でアイスクリームづくり体験。そして、現地で短い時間ですが、元気に遊んでいました。体験では、いただきます、命の大切さについて良い話が聞けました。夕食後は、キャンプファイヤーで、歌にダンス、教員のとび入り出し物、肝試し等、最後の夜を楽しみました。



キャンプファイヤーの様子

最終日は、野辺山宇宙電波観測所を見学し、記念撮影。その後、野辺山駅でお土産を買い、昼食を食べて、帰ってきました。楽しそうにお土産を買い、友達とおいしそうに昼食を食べていました。

3泊4日という長いようで短い期間、野辺山という大自然の中で、普段では体験できない、貴重な体験ができたと思います。子供たちの何よりの笑顔が沢山見られたのが良かったです。学校での顔ではなく、野辺山で見せる表情はとても生き生きとして新しい発見ができて、今後の財産になりました。

全体的には、本当に気持ちの良い移動教室でした。今後の学校生活に活かしてもらいたいと思っています。挨拶、時間を守る大切さ、気づき、考え、行動する大切さ等、いろいろな体験の中で成長を感じました。ただ、残念なことは、ルールが守れなかった人がいることです。悪い、してはいけないと判っているのに、バレなければ良いという甘い考え、嘘をついて平気でいられる心、本当に反省、見直してもらいたいです。

初日を除いて、天候にも恵まれ、大きな事故、トラブルもなく、無事に3泊4日の移動教室が行えた事に、感謝です。ありがとうございました！

邦楽連盟チャリティ演奏会に特別出演

4月20日、区民プラザで開催された大田区邦楽連盟チャリティ演奏会に2年生9名が特別出演して三味線の演奏を披露しました。

本校では、1年3学期に音楽の和楽器の学習で「三味線の演奏」を行っています。数名の講師の先生を招いての2時間の授業ですが、和楽器に興味をもつ生徒は沢山います。希望者をその時に募り、ここ数年続けて出演しています。9名は、事前に放課後何度か練習して演奏会に臨みました。今回は、歌を歌いながらの演奏でした。



当日は、緊張の中で一生懸命の演奏を披露してくれました。